

全科協ニュース

1988年1月1日発行

(通巻第99号)

全国科学博物館協議会

東京都台東区上野公園

国立科学博物館内

☎ 110

Tel. 03-822-0111 (大代)

Fax. 03-824-3298

おもな内容：◇今年の抱負 ◇エクプロラトリウムクックブック(2) ◇全科協北から南から

年 頭 に あ た っ て

全国科学博物館協議会

理事長 諸 澤 正 道

全科協の皆さん、新年おめでとうございます。
各会員館園におかれては、今年もさまざまな企画のもとに新たな飛躍を期しておられることと存じます。心から御発展をお祈りいたします。

さて、全科協では、昨年、会員館園相互に特別展示資料の貸出しや、その他の展示資料等の交換、事業研究会、海外視察研修などを主な事業として実施いたしました。これらは、それぞれの館園の展示・教育普及活動等に大いに役立てていただけたものと存じます。

この中で、昨年10月に実施しました第4回全科協主催「欧州科学系博物館視察研修」は、2週間たらずの短期間ながら、訪問館の専門職員等から懇切な説明を受けたり、教育活動や展示方法について相互

に意見交換をする機会を持つなど、極めて有意義な研修であったとの報告があり、大変良かったと思います。今後、実施する場合にはこの事業の意義を再認識され、職員の御派遣に格別の御協力をくださるようお願いいたします。

また、全科協博物館事業研究会につきましては、昨年に引き続き、今年も青少年科学活動の効果的な進め方について、各県の実践活動をふまえて研究協議を深めていただきたく、計画を進めております。

さらに、展示資料の相互交換、情報交流を一層推進し、各館園の事業の充実に役立てていただけるよう努力したいと考えております。

本年もどうぞ皆様の御協力をお願いいたします。

今 年 の 抱 負

新 年 お め で と う ご ざ い ま す

札幌市青少年科学館長 柿 本 伸 之

'88年は新年の恒例行事「冬休み特別展」からスタートします。今回のテーマは“おもしろマイコン音楽祭”。世界最高レベルのCG(コンピューターグラフィックス)や世界に一台というマイコン制御のグラスハープなどを展示した年頭にふさわしい楽しさあふれる企画です。

天文事業も、昨年オート番組の複数化を行ったプラネタリウムや地域への普及活動の一翼をになう移動天文車など、一層の充実を図ってまいりますので、今後ともご指導の程、宣しくお願い申し上げます。

滝川市美術自然史館長 佐 藤 順 博

美術部門と自然史部門を複合させた施設として昨年9月にオープンした当館は、関係各位のご支援のもと、全道レベルの展示会を数回開催し、道央に位置する博物館として、その役割を幾分か果たせたのではと、来館者の顔を拝見しながら推察しております。

しかし、いかんせん誕生まもない施設であり、来館者のニーズに対応出来得る企画展の情報収集を模索する状況にあり、孤立感から脱皮するためにも、部門別の「友の会」づくりに今後も全力投球を続けております。加盟館各位のご指導とご支援をよろしく申し上げます。

今年 の 抱 負

新年 お め で と う ご ざ い ま す

岩手県立博物館長 金子 彰 吉

当館は毎年3回の企画展を開催しておりますが今年の第1回目は海に生きた哺乳類の歴史をテーマにして行う予定であります。

岩手の県土は、古くから化石の宝庫として知られていますが、最近では北低地帯の各地から鯨をはじめとする海生哺乳類化石が多数発見されております。企画展では、これからの化石や現生鯨の骨格標本を通して、われわれを取り巻く自然環境やその歴史について見つめていきたいと思っております。

齋藤報恩会自然史博物館 齋藤 温次郎

自然史系の常設展示は、昨年改装により一応全部終了して体裁をととのえられた。本年度は財団の助成により、超伝導の基礎ともいえる絶対零度附近の「極低温物性研究」を行った機械装置と、今日のTVの「八木アンテナ」を初めて実用化した「極超短波無線送受信機」の装置を公開展示する予定であります。それに併せて最先端を行く、発光ダイオードの原理に関する装置も同時に展示して、充実を図る年と念願しております。

仙台市科学館長 佐藤 光 男

昨年はNHK大河ドラマの放映に伴う政宗ブーム、東北初の地下鉄開業、東北博の開催など仙台市にとって大変活気に満ちた一年でした。

そんな中で、8月にロボットをテーマにした特別展「おもちゃたんけん」を企画しましたが、大好評で、連日大勢の入館者で賑わいました。

一方、新科学館建設事業は現在、実施設計の段階にあり、建築・展示ともに煮詰ってきました。

今年の7月にはいよいよ建物が着工します。

後世に誘われる科学館づくりを目指して科学館職員一同力を合せていきたいと思っております。

秋田県立博物館長 島山 芳 郎

教育・文化行政を実践する本館は、県の総合発展計画にもとずいて、生涯教育の拠点として積極的な館運営を図り、自然や人文の学習を通して、県民文化の向上に努めております。

本年も「八郎瀉の自然史」(テーマ)展をはじめ「クロマツ林の鳥類」「植物の系統と進化I」「県内産の鉱物」「貝のコレクション」等を展示します。なお観察教室や採集会、それに地域調査研究および資料の収集・整備にも努めますので本年もよろしく願いいたします。

山形県立博物館長 鈴木 宗 哉

当館は最上義光ゆかりの霞城跡内にありますが大手門復元工事のため、今まで自由に出入りのできた大型バスは乗り入れ禁止、普通車は迷路のような小路を大きく迂回ということで、当然入館者の減少という結果となりました。

こうしたマイナス面を克服するには、特別展-山形の大地に刻まれた歴史-、企画展-東北の人形・(他三展)-、各種講座等々、県民の要望に応え得る事業を開催し、関心を高め理解を深めるしかないと考えております。各館、各位のご指導をお願い申し上げます。

いわき市石炭・化石館長 御所脇 八州男

昨年は、企画展「いわきの自然」PART1鳥、同PART2植物化石の展示を行いました、大変好評をいただきました。又開館3年で85万人の入館者を迎えることができました。今年3月末には、念願の常磐高速道が開通することになりますので、より展示内容充実のため四本牙をもつステゴロフオドン象や、翼竜、海ガメ、雷獣等、貴重な化石を展示いたします。又春休み、夏休みには企画展を実施し、いっそう魅力あるものにする考えであります。



 今年 の 抱 負

新年おめでとうございます

栃木県立博物館長 渡辺 幹雄

栃木県立博物館長は、昨年お陰様で開館5周年を迎えました。6年目の今年は、初心にかえり「開かれた親しまれる博物館」を目ざし、より一層努力していく所存です。開かれた博物館づくりの一環として、一昨年より実施しています館外活動（移動展・学校移動博物館・移動講座）も好評で、今年も内容をさらに充実させ開催していく予定です。また、63年度の企画展は「コケとシダ」（7月～9月）、「鹿一人との関わり合いの歴史ー」（64年2月～3月）を予定しています。なお、足尾山地の自然総合調査は今年で終了し、その結果の一部について64年度企画展で発表する予定です。

川口市立児童文化センター館長 吉村 和男

当館は今年で27年目を迎えます。各種の事業を行う一方、科学展示室を設け観覧に供していますが、この展示物更新には毎年頭を痛めているところです。昨年、今年と2年にわたって天文展示コーナーの大々的な改装を進め、最新の器機による最新情報の提供なども行えるように考えております。館の将来計画としては、部分的な改修・改装にとどまらず、新機軸を打ちだした建替え構想なども検討していかねば…という一年です。

アリタキ アーボレータム園長 有 瀧 龍 雄

今年は辰年、明治37年11月3日生れの小生、いつの間にか84歳となり徒らに馬齢を重ねたゞけでお恥かしい次第。昨年は7月24日から8月1日まで西ベルリンでの国際植物学会、続いて8月2日から8日までフランクフルトで国際植物園協会総会に出席、10月には南紀での南方熊楠生誕120年記念行事に参加。他方、学芸員は1月にはインドネシア、10月には中国四川省のメタセコイア原生樹および植生探訪を実施させた。今年はそれら出張見聞について報告会を何かに分けて開催したいと考えている。

目黒寄生虫館長 亀谷 了

高名な物故研究者の方々や、高名な現職の方々から所蔵標本や文献の一括寄贈をうけることが多くなりました。これらを整理保管公開することは寄贈して下さった方々への礼儀であり、学界に対する責任だと考えています。幸いにコンピューターも入手、稼動しはじめました。本年はその事の一日も早く完成に近づくことを祈念しています。

埼玉県立自然史博物館長 紺野 雄三

パレオパラドキシア化石の全身骨格は世界で数体という稀少なものです。そのうち2体が本県の秩父盆地から産出しており、当館自慢の展示になっております。今回、1体分を実物化石骨格として復元し、来る3月19日（土）から熊谷市で開催される埼玉博覧会のメイン会場に展示する予定です。多くの観覧者の関心を引くことと期待しています。博覧会終了後は、改めて当館展示の柱とすべく想を練っています。

千葉市立郷土博物館 山田 聡

今年も小笠原沖での皆既日食や火星の大接近などインパクトのある天文現象が続きます。当館の科学部門は10mのプラネタリウムだけですが、人と人とのつながりが次第に希薄となる昨今、小規模なりの良さを生かして、生解説でアットホーム的な奮闘気での投影を続け、子供たちとともに宇宙への夢を広げてゆきたいと思えます。

なお、私自身は昨年4月に赴任してまいりました。まだまだ博物館運営には素人ですが、今年是他館を参考に、独自の活動を展開してゆきたいと思えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

科学技術館長 久保 俊彦

昨年は刀根川博士のノーベル賞受賞、高温超伝導酸化物の開発等科学技術界は大いに賑わい、多くの人々が科学技術に関心を深めた年でした。今年はどうのようなトピックスが飛び出してくるが楽しみなところでは。

一方、世の中の生涯学習気運の高まりをうけて、博物館の利用者層は幅広いものとなってきております。このような状況をうけて、近年自然科学系の博物館が急速に増えたことは、同じ博物館に携さわるものとしてご同慶の至りでございます。

丁度この年に、科学技術館は開館25周年を迎えます。これを機に展示室の増設を図り、着実な科学技術の振興普及活動の歩みを続けてまいりたいと考えます。皆様のご協力をお願い申し上げます。



今 年 の 抱 負

新 年 お め で と う ご ざ い ま す

電気通信科学館長 白 根 吉

ISDN（総合デジタル通信サービス網）が社会を変える——をうたい文句に世界最大の電気通信展示会“テレコム87”が昨年10月にスイスのジュネーブで開かれました。これは4年に1度の“通信業界のオリンピック”といわれるものですが、その中で、日本は世界に一步先んじていることが判りました。

こういった中で、私どもの館は、民営NTTの大きな流れを背景に、より効率的な運営体制とお客様本位のサービス提供をすすめ、展示面で、レファレンス面でより充実したご案内をすることがその使命だと思っております。

具体的には、当館では来館用の研修解説書づくりや、ユーザー向けのフォーラムを続けてまいりましたが、さらに情報発信基地として、創造型・ワークショップ型の科学館のありかたを模索し、つくりあげてゆきたいと考えております。

ガスの科学館長 戸 田 瑞 穂

当館は、本年開館3年目を迎えます。これまでに学童・婦人層を中心に、約20万人に来館いただきました。開けゆく東京湾奥のウォーターフロントに面した斬新な建物と最新の展示映像技術を駆使した参加・体験型の展示や実験および明るく親切なお客の案内が人気を呼び、校外学習施設として定着しつつあります。

本年は、より一層楽しくするための科学館を目指して①ロボットと映像を組合わせた楽しいアーバンライフシアターの開設②超伝導実演の開始③情報ステーションにおけるパソコンQ&Aソフトの拡充等を行います。

また、夏休み期間を中心に工芸教室や理科実験教室などのイベントを計画し、「楽しみながら学ぶ」施設として一層の充実を図ってまいります。

天文博物館五島プラネタリウム館長 山 本 忍

昨年4月に開館30周年を迎え、各種イベントを実施して来たが、ほぼ終了したので本年度はこれを節として、全般に渡る見直しを行う。例えば投影開始時刻、特別投影のネーミング等、更に展示をニューメディアの活用で一刷新する計画を立て、館の発展につなげたいと考えている。



サンシャインプラネタリウム館長 植 野 雅 義

当館は昭和53年に開館し、今年で満10周年を迎えます。これを記念して、今迄以上にプラネタリウムの番組を充実させた特別番組を予定しています。

また、本年は11月下旬より約1カ月間臨時休館とし特殊投影器の増強を図り、施設全体のオーバーホールとプラネタリウム操作台の更新も行う予定です。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

東京都高尾自然科学博物館長 鹿 山 実

当館では、一昨年の野鳥コーナー更新に引き続き、昭和62年度には両生・虫類コーナーを更新し、東京のへび、東京のサンショウウオ、東京のカエルの分類展示の他ナガレタゴガエルをジオラマとして取り入れ展示資料の整備を図って参りました。本年は常設展示資料の一層の充実を期するため、展示解説パネル等の更新を考えております。又、自然が最も多く残され、当館の貴重な野外教育普及活動の場でもある「高尾山」の植物調査の最終年次に当たるため、その成果をまとめ、「高尾山植物目録」を刊行する予定であります。

神奈川県立青少年センター館長 池 田 茂

青少年を取り巻く社会環境は、年毎に変化をしております。

このような中で、当センターは青少年の健やかな成長を願い、科学・芸術・文化の三本を柱として諸事業の推進をはかっております。

本年も多くの青少年が未来への夢を育てる施設として、事業の充実をはかり、都代のニーズにこたえられるよう、その役割を果してまいりたいと思っています。

神奈川県立博物館長 加 藤 整 爾

当館は昨年開館20周年を迎えることができ記念誌の発行や特別展など各種の記念事業を実施してまいりました。本年は次の目標に向けて大きく飛躍する第一歩を印す大事な年でありますので来館される多くの方々に満足していただけるよう館員心を一つにして気持を引締め各種の事業に取組んでいきたいと考えております。又このため従来から懸案になっております当館の再編整備についても各種調査を踏まえ映像情報システムの導入をはじめとした21世紀に向けての整備構想策定の具体化に引き続き努力してまいる所存であります。

今後のご指導と全科協関係の皆様のみますますのご発展を祈念いたします。

今 年 の 抱 負

新 年 お め で と う ご ざ い ま す

横浜こども科学館長 牧野 昇

昨年のノーベル物理学賞は発展の著しい超伝導の分野の研究者に与えられました。

科学の発達はますます速くなっていますが、同様に科学館も時代の変化に即応し、常に自己を見直し姿を変えていく必要があります。開館5年目を目前とし、当館では展示物の更新に向け、その可能性を探っています。

今年は米国のスペースシャトル計画が再開されます。「宇宙と横浜」をテーマとする当館もその時運に乗り、子ども達の夢を育むべく、館の魅力づくりをしていきたいと思ひます。

観音崎自然博物館長 山下 金 義

私は今年4月着任いたしました。

開設来34年、東京湾口に面し、海と魚の博物館として親しまれた当館は、54年閉鎖の危機に直面、多くの人々の善意が実って、この程神奈川県の手で新築、再建されることになりました。

自然の観察と校外学習に好適な立地条件を活用して研究と教育活動を進め、21世紀の水産（栽培漁業への道）の知識の普及と啓蒙につとめたい。

64年春の新博物館オープンを目ざして館員一同努力しております。ご指導をお願い申し上げます。

横須賀市自然博物館・人文博物館

館長 田 原 久

当館付属の馬堀自然教育園に学習棟を建設中で、63年5月下旬開設の予定である。150㎡の鉄骨造りで、レクチャールームは40名収容、壁面に展示ケースとパネルを配して、園の概要・地質・動植物・水辺環境等の季節に応じた展示を行い、資料室・管理室・手洗所も設ける。年間16回の教室・講演会等を開催する。本館では東南アジア産の蝶類15,000点の寄贈を受けたので、その分類整理を行う、特別展「縄文時代の人と自然」を9月27日から翌年3月まで開催する。

東芝科学館長 中村 清 志

21世紀ももうあまり遠い将来でなくなった今、次世紀に活躍が期待される科学技術に人々の関心が集まっています。超LSI、衛星放送、ロボット、光通信、高品位テレビ、リニャモーターカー等々私達の21世紀での生活を支えるであろうこうした内容をどなたにも分かり易く面白く御理解いただける様に今年も努めたいと考えています。日進月歩のこうした分野では展示の見直しが必須ですが昨年レーザー関係に少し手を加えましたし、今年も年初に軽電のコーナーの改修を予定しています。又今年中には産業エレクトロニクスの部分も見直したいと企画中です。

新潟県立自然科学館長 長谷川 正 明

昨年は、3月にオープンした新展示場「コンピュータコーナー」「ニューメディアコーナー」と、特別展など催物が大変好評で、入館者数も前年を大きく上回ることができました。

本年は、お客様がより楽しめるよう、展示更新第2年目として3月初めには、5つの新展示物が完成するほか、特別展は、科学技術を支えるいろいろな新しい材料、「新素材」を紹介しようと計画しているところです。

上越市立総合博物館長 池 田 稔

昭和55年に開催した「直江津今町の和算家 小林百咄展」を機会に全科協の仲間入りをさせていただいた。

上越市には当館の他、毎年30万人以上の入館者をもっている水族博物館と県立上越科学館が設置されていて、それぞれの分野を担当している。

当館では、ここ数年秋の美術展開催が恒例となっているが、一方の柱である郷土との深い関連事項にもスポットをあて、さらに充実した企画展をつづけたいと考えている。



 今年 の 抱 負

新年 おめでとう ござい ます

新潟県立上越科学館リージョンプラザ上越

支配人 横川 英治

昨年10月に開館満3年を迎えた上越科学館・リージョンプラザ上越は、入館者延2百万人を数え上越市はもとより上越地域の教育、文化、スポーツの中核施設として地域の人々から大いに利用されまいりました。

本年も上越科学館では、多彩な催物の開催や、子どもから大人まで楽しめる特別展も計画してまいりたいと考えており、又、隣接しているリージョンプラザ上越と一体となった複合的機能を発揮した、より参加性の高い自主事業の開発や、積極的な広報活動を展開してまいりたいと考えております。

富山市科学文化センター館長 長井 真隆

新年おめでとうございます。当館が開館して今年は9年目です。お蔭様で収蔵標本が18万点を越えました。収蔵庫がせまくなり、その前後策を考えているところです。

ところで、昨年NHKの「地球大紀行」にちなんで、講演と特別展を行いました。NHKと公文出版のご協力を得てパネルを借用し、実物標本は館の収蔵品を使用しました。十分対応し得たことに、博物館の命として、「実物標本」の重要性を新たに認識させられました。

山梨県青少年科学センター館長 長島 昭夫

昨年4月から(財)山梨県青少年協会に管理運営が委託になりました。民間活力の導入を図り、より効率的な運営を目指して、職員一同、一層の努力をしまっている所存であります。よろしくご指導をお願いします。

さて、今年は開館23年を迎えます。すでに定着した、コンピュータープログラムや科学工作、おし葉標本、天体写真等の六つの作品展に加え、子供達が夏休みを使い、水と生物、コンピューター、地質、天文等の研究に取り組む「豊かな心を育てる青少年科学活動促進事業」の実施を計画しております。

また、アマチュア無線、コンピューター、天文等のグループ育成も図り、子供達の科学への夢を大きく育て、親しまれる科学センターづくりにまい進していきたいと思っております。

岐阜県博物館館長 森崎 利光

<岐阜県博物館自然常設展の整備充実計画>

当館は、開館以来10年余を経過し、この間に自然科学の進歩はめざましく、それらの研究成果をより正確に、しかも教育的に配慮した展示に心掛ける必要があります。このため、より魅力ある博物館として広く県民に親しまれ、楽しみながら学習できる場として、教育文化の向上に寄与するよう常設展示の整備充実を計画しました。

観覧者に興味・関心をひき起させるように、より立体的、動的展示に心掛けました。

昭和63年2月初旬までに整備が完了します。

静岡市立児童会館館長 山下 定男

心の豊かさ、個性尊重の教育が呼ばれている今日、学校教育の充実は勿論ですが、巾広い経験をさせ、生涯教育推進をはかるため、社会教育の大切さを痛感する昨今です。

本会館の今年の課題としては、会館の役割を充実発展させるため、学校との連携を如何にはかっていくか。もう一つは、32年目を迎えた会館を夢のある自由教育の殿堂として、どう建てかえるべきか、構想を練る年だと考えています。

浜松科学館館長 櫻場 周吉

開館2年目の新年を無事迎えることができました。本年は、これまでの貴重な経験を踏えて、楽しみと潤いのある展示、見に来てよかったプラネタリウム番組を中心に、特別企画として、夏休み星空コンサート・プラネタリウムの夜間運営ならびに科学講演会、天文特別展を積極的に開催して、より多くの人々に利用していただきたいと計画しております。また、年次計画として、館内にオンラインコンピューターシステムの設置準備、全天周大型映像システムの導入をしたいと、厳しい財政事情の中、職員の意気は盛んでございます。

新幹線から見える科学館、浜松駅から歩いて5分の科学館として、今年も皆様のご鞭達をお願い申し上げます。



今 年 の 抱 負

新 年 お め で と う ご ざ い ま す

東海大学海洋科学博物館長 井 上 元 男

旧年は二階部マリンサイエンスホールの開館、お蔭様で好評のうちに開館以来1千万人入館の記念すべき年でありました。本年は引き続き、発光海洋生物、ラプカの特別展をしております。また、本年も8月に全国中・高理科教員を対象に本学練習船望星丸(1200トン)を利用し3泊4日(昨年は、三宅島まで)の第17回海洋教育講習会を海洋学部教授陣により実施の予定です。全科協博物館の方で関心のある方は御参加下さい。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

市立名古屋科学館長 岡 田 博

名古屋市制百周年に当る昭和64年春に完成する予定の本館の西側に建設中のライフサイエンス館の工事は目下着々進行しています。

物理学、工学、産業技術を主とした現在の本館も、64年迄にその展示のかなりの部分を改新する予定をしています。

天文部では昨年始めて行ったプラネタリウムとコンピューター音楽の集い、と8月に御嶽山麓で行ない約三千名が集まった美しい星空を見る会を行います。

新館の建設と旧館の改新にあたり、科学の展示のみでなく、理解と創造をかもす楽しい場処にしたいと思っています。

半田空の科学館長 岩 本 甲子三

三年目に入ります。子どもたちの科学する心を育てたいという初期の目標にむかって、各種事業を展開してまいりました。本年は、子どもたちとの接点をより強力にしたいとの願いもふくめ、先生方の来館の機会をより多く「教師のための星空教室」を新規事業として発足させます。この科学館を中心にして、学校・地域・親と子どものひとつになった事業ができればと夢に描いております。よろしくご指導下さい。



博物館明治村館長 関 野 克

餅つきに始まる明治村の正月行事は、消防出初式とともに毎年恒例となり好評を得ている。勿論年末年始を含め明治村は年中無休である。

現在の明治村の主な科学関係展示には「鉄道寮新橋工場・機械館」の原動・工作・織機・印刷等の諸機械。「北里研究所本館・医学館」の細菌学の諸資料。「品川灯台」、「菅島灯台附属官舎」の灯台関係資料。「札幌電話交換局」の通信諸機器。「工部省品川硝子製造所」のガラス資料。「三重県庁舎」の時計・双眼鏡等精密機器等がある。広い意味では全建造物の1/3が科学展示とみることができる。

春には六郷川鉄橋が58番目の移築建造物として「鉄道寮新橋工場・機械館」前の入鹿池江をまたいで再びその姿を明治村に現わす。このあたりが地理的にも100万㎡の敷地のほぼ中央にあたり、「機械館」は明治村の科学展示のセンターと言えよう。

又、動態展示の蒸気機関車・京都市電は村内の実際の交通機関とし利用し入館者にも喜ばれている。

放送文化館顧問 北 尾 正 康

特別展の企画といえ、それは当事者にとって楽しみでもあります、それ以上に苦勞のタネでもあります。当館でも従来何とかして放送に関係のあるテーマをと苦心を重ねて来ました。

ところが昨秋から今年初頭にかけての「エッセイの不思議な世界」展は純然たる美術展で放送とは何等関係がありません。然し案に相違してこれが成功しております。企画は、時には敢えて一步踏み出す冒険があってもよいということでしょう。今年もこのことを忘れずに進む所存です。

神戸市立青少年科学館長 佐 野 雄一郎

本年は、昭和64年春の新館開館をめざし、職員一同一層の努力をいたす所存でございます。

今後とも、倍旧のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

新 年 お め で と う ご ざ い ま す

生駒山宇宙科学館 濱 根 洋

光陰矢の如しとはよく言ったもので、当館が昭和44年10月に開館して早や18年の歳月が流れ、今年は19年目に突入いたしました。来年は20才の成人式を迎えることになり、本年から20周年改装計画の実施に向けて忙しくなりそうです。

振り返ると、アポロ計画による人類初の月面着陸、スペースラブ計画、そして、今やシャトル時代に入り、その間、76年振りのハレー彗星の回帰、29年振りの金環日食と、宇宙への関心は盛りあがってきました。しかし、人々の関心はウワベばかりで、基本的知識の欠如、歴史的知識の欠如、科学発達による心の欠如という問題がさげばれています。レトロブームと云われている昨今、ロマンを、そして、夢を求められる特別展、あるいは展示を企画して歩みたいと考えております。

鳥取県立博物館長 長 石 肇

昭和47年に開館してちょうど15年経過したところです。昨年に引き続き本年も常設展示の改善に取り組むことにしています。前身の科学博物館のときから分類に重きを置いた展示方法をとってきましたが、動的、生態的な要素を取り入れ、親しみのある、分かりやすい展示をめざして改善に取り組むみたいと思っております。

また、昭和64年度には「山陰海岸」に焦点を当てた特別展を計画していますので、その準備に取りかかりたいと思っております。

倉敷市立自然史博物館長 浅 沼 昌 平

今年は開館5周年を迎え、4月には本州・四国を結ぶ「瀬戸大橋」も開通します。

そこで本年は特別展として、「海辺の生きもの」-瀬戸大橋をとりまく自然-を計画し、岡山県側の鷺羽山周辺の磯・干潟・砂浜・人工海岸・河口などの自然環境と、そこに住む生きものを、実物標本・レプリカ・写真・パネルなどで、その状態を再現できる展示を試みたいと考えています。

地域の人々が、これにより、自然を見直してくれれば幸いと思っています。

広島市こども文化科学館長 古 川 克 之

昨年は、「EXPO'86 国際交通博覧会」の日本館に展示された交通模型を広島市が譲り受け、当館2階に「交通模型・ガリバースクエア」としてオープンしました。

今年の夏は、私たちの生活に深い関わりのある「布」をテーマに、関連企業、団体等の協力を得ながら手づくりの企画展を開催する予定です。また、3月には「楽しい科学教室-第2集」を発行します。今年もどうぞよろしく願いたします。

徳島県博物館長 中 西 忠 司

去りゆくものへの思い出とさびしさを、来るべきものへの希望とたのしさをないまぜながら、新しい年を迎えました。本館は昭和34年開館以来30年、地方公立総合博物館として、地域の科学・文化普及に、皆様方の御指導のもと、歴代館長以下館員情熱を傾けてまいりました。

本県の大プロジェクトである「文化の森総合公園」のもと、昭和65年新館開館をめざしています。博物館、美術館、図書館、文書館、それに周辺の森や林に各館関連の附属ゾーンをともなった40haの文化公園地帯が現出します。

昨年の「世界の蝶」展-蝶のデザインによる美術工芸コーナー併設-が本館最後を飾る科学部門の特別展でした。今年は新館移行への準備作業が一段と増えてきますが、館員一同現館の開館中の平常活動にも一層の気合を入れて、とりくんでゆきます。

香川県自然科学館長 田 丸 秀 明

本年4月、待望の瀬戸大橋が開通し、本州との交流がこれまで以上に活発になると期待しております。これを機会に、業務の柱である中学2年生を対象とする野外体験学習の指導内容の充実・指導方法の工夫を図りたい。また、昨年度旧象化石を収蔵しましたが、資料の収集に努め展示内容の充実を図りたい。さらに、夏休み親子ふれあい教室等の充実、グリーンアドベンチャー常設コースの有効利用などに取組みたいと考えております。



 今年 の 抱 負

新年おめでとうございます

龍河洞博物館長 原 健 夫

龍河洞保存会は、瀬戸大橋開通に大きな期待を寄せ、施設・設備の充実に努力してきた。特に博物館では、溶食された石灰岩の写真、化石や石灰岩を好む動物・植物の標本や写真、縄文文化人・弥生文化人の生活の様子を示す土偶や壺・石器等の資料の展示に一層の努力をした。また、児童生徒の洞窟探検、植物や昆虫の標本づくりの講習会や展示会を行うなどして、自然への興味・関心を更に人める運動を推進する。

九州エネルギー館長 本 村 善 岱

当館は、昨年11月開館5周年を迎え、来館者も百万人を突破いたしました。これを節目に本年は気持ちを新たに、なお一層地域の皆さまに愛され親しまれる展示館を旨とし頑張っていきたいと思っております。具体的には、新機軸を取り入れ一部展示コーナーの改装を行うとともに運営面においてもできるだけ、来館者へのご要望に添えるよう努めていきたいと考えております。またイベントについては、皆さまに文化面、教育面においてもご満足いただけるものを企画し、ご期待に添いたいと考えております。

北九州市立交通科学館長 堤 喜久雄

今年度新しく会員になりました。よろしくお願いたします。当館は都市モノレール小倉線の建設を記念し、昭和60年7月に開館しました。

これからの課題は、別館の実現へ向けての努力と諸先輩の施設に学び、いつ来ても違ったものが見られるという特別展示の開催への取組みと思っています。

これからも来館者の期待にこたえるよう職員一同努力してまいります。皆様の御指導をよろしくお願いたします。


北九州市立児童文化科学館長 柴 田 修

科学の進歩は目覚ましく、急速な変化をとげつつあります。こうした時代に少しでも即応していけるような努力を続けているところです。

例えば、新しい感覚を持った展示品の更新。電気、水、コンピュータといったテーマの充実がはかられようとしています。また、今年は、新しい事業である子どものための「地球大紀行」公開セミナーから幕明けをしようとしています。

厳しい財政状況の中ですが、職員一同、今年も楽しく学べるプログラムづくりに、なお一層の力をそそいでまいります。

佐賀県立博物館長 大 塚 正 道

当館は科学の部門では、郷土の自然の理解と学習を進めることを目標として、郷土に産する岩石・化石・鳥・昆虫・蝶などの標本の収集は近年急速に進んできました。特に植物標本は、県内全ての植物を網羅しており、その数2万点、最新の技術による作成のため標本の出来がよく、好評を得ています。

郷土の自然を科学する心を養う基礎資料として常設展「郷土の歴史と文化」の中の自然部門に輝くひとつのコーナーを設ける準備を進めています。

宮崎大学農学部農業博物館長 北 尾 忠 利

新キャンパスにふさわしい附属博物館として完成したのが、一昨年2月である。小さいながらも(423㎡)館内の整備もでき、9ヶ月後には開館へこぎつけ外来者を受け入れることが出来るようになった。

今年から農学部の再編・見直しに向けて、当博物館も大きな変革を迫られている。附属施設としての役割は、教育研究に直結して他施設との連携、国際時代における外国との交流、更に外国留学生への対応が徐々に増大している。一方では情報化時代の博物館としての利用度が高まり、本年はそれらの課題を解決する第一歩としたい。

エクスプロラトリウム 『クックブック』から (2)

— 展示品製作の手引き —

皆川紗武良 (全科協購読会員)

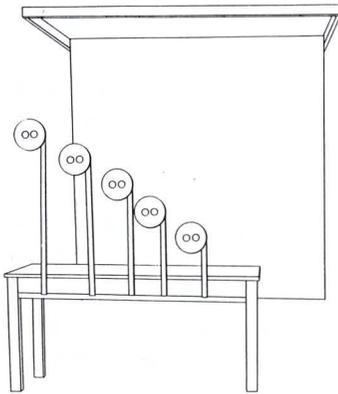
中川 久雄 (ゼネラルサイエンスコーポレーション)

立体映像

目次 No. 50

工作技術レベル
機械→② 電気→②

図1



説明

この展示は、最も初期の立体映画に使われた原理に基づいている。スクリーン上には、1つの物体ごと2つの映像が各々の投影機により映し出される。投影機には、赤色と緑色のフィルターが組込まれ、1つの映像には赤色光が、そして他方には緑色光が含まれている。観覧者は、赤色と緑色のフィルターを持って、各々の投影機からの映像をフィルターを通して、見るようにしている。眼が違った場所に映し出された1つの物体の映像を見ると、脳は立体空間の中に1つに融合された映像を作り出すことができる。(第2図参照)このようにして、投影機とスクリーンとの間の物体が、観覧者とスクリーンとの間の空間中に、浮かんだ立体映像として現れる。

観覧者が投影機とスクリーンとの間の空間を動き回ると、驚く程の大きさや厚みのある映像を作り出す。投影機に近づくると二色の映像は、ますます広がって大きくなり、しかも近くに見えるようになる。子供たちは、巨大な立体映像を作るため、前や後ろに動いて楽しんでいる。

スクリーン上に人の姿が映されていない場合には、くるくる回るワイヤー立体の映像を見せる。

展示スクリーンの背面にも、観覧者がいてもよい。背面の観覧者は、前面の人や物体と同じ距離だけスクリーンから離れて立ち、また動いてもおもしろい映像が現れる。

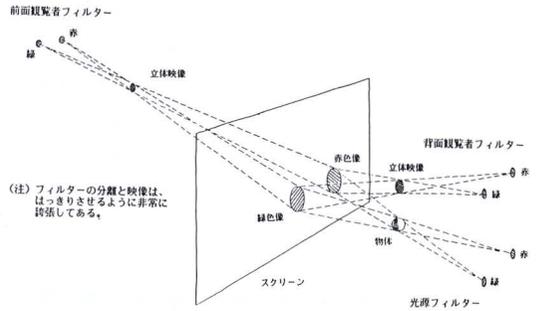


図2 立体映像のつくり方

構造

展示では、2つの投影機は2組のスライド投影機であり、映写レンズなしでも、完全に使用できる。これがない場合は、他の強力な光源を1組用意する。光源の間隔は、それほど厳密なものではないが、数インチ以上離れると、展示の奥行すべてを見ることは、難しくなるだろう。また、スクリーン上の二色の映像が離れすぎると、目や脳が、1つの立体像を見ることが、困難になる。もし、場所があるなら、投影機やスクリーン、観覧者の距離をいろいろ変えて実験することができる。

解説パネル

(1) やってみよう

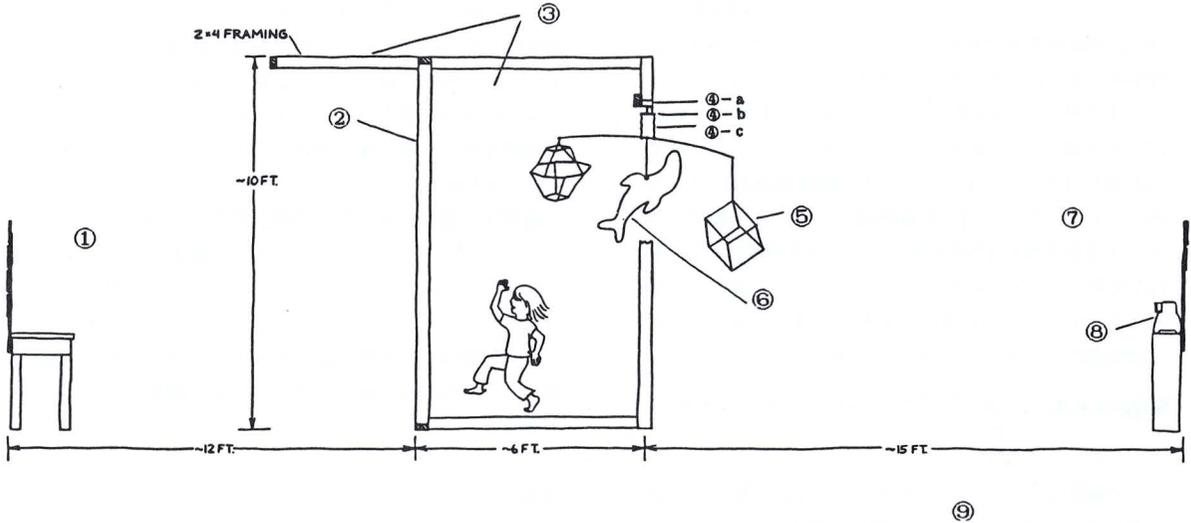
赤色と緑色のガラスを通して、スクリーンを見てみよう。動いている物体の映像はどのように見えるかな、友だちはスクリーンの後ろ行き、友人がスクリーンの後ろから赤と緑の光の方に向かって歩くと、その姿がまるで巨人がやってくるように見えることに注意しよう。

(2) 何が起きているのだろうか

映像を作り出す赤色光と緑色光は、両眼の間隔とほぼ同じ間隔に離れている。従って、二色の光は、スクリーン上に、少し離れた二つの映像を作り出す。

赤色フィルターを通して見ている眼は、赤色光によって作られた映像だけを見る。また、緑色フィルターを通して見ている眼は、緑色光が作った映像だけを見る。両眼で、同じスクリーンを見た映像が脳へ伝わると、脳は2つの映像の違った位置をスクリーンより手前に近づいていると判断するのである。人や物体が、スクリーンから光に向かって動くと、次の2つの理由により、映像が自分に向かってくるように見える。第1は、映像が大き

図3 展示の断面



くなること。

第2に、赤色光と緑色光によって作り出される二つの映像が、ますます離れていくからである。

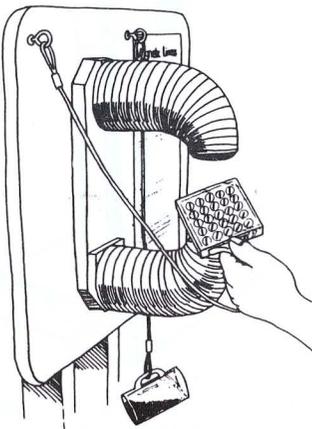
- ① 前側：赤色と緑色のフィルターは、観覧者のいろいろな眼の高さにセットされている。
- ② モスリンを張ったスクリーン
- ③ スクリーンの枠には室内灯をさえぎるカバーをつける
- ④-a 毎分12回転モータ
- ④-b モータで動く円板
- ④-c モータと軸を保護するコード

- ⑤ ワイヤーで作られた直径1フィートの立体図形（高さは固定しない）
- ⑥ プラスチックのシルエット図形板
- ⑦ 後側：観覧者用赤色緑色フィルター
- ⑧ 赤色と緑色のフィルターをつけた光源
光源はそれぞれ500ワット
集光レンズは点光源に近い働きをする
- ⑨ 光源の引き離しは、2½インチまでで表示され、基準線の距離と調和される。
すべてのフィルターは、左に赤色、右に緑色をセットする。

磁力線

目次 No. 92

図4



説明

磁石の周囲にある不思議な領域は、磁界をたどることを調べるのに役に立つ。砂鉄を入れた透明プラスチック円筒を使ったり、プラスチック台盤に自由に回転するプ

ラスチックボールとその中に鋼鉄棒を入れたものを埋め込んだ装置を使うことで実験できる。

構造

磁石（第2次世界大戦で特徴的に使用されていたレーダーマグネット）は、展示説明と一緒に木製パネルにボルトで強く据付けられている。（磁石は重く、倒れると危険なため。）黒い砂（浜辺で集めてきた砂鉄もしくは、代わりに鉄を削ったもの）の入っている円筒とボールを埋め込んだブロックは、ステンレス製の鎖でパネルに吊されている。

円筒は、二つの磁石の間に入るように作る。（ここでは、長さ4インチ、直径2.75インチのものを使用。）これは、厚さ1/8インチのプレキシガラス管で作られ、ふたの部分と底の部分は、厚さ1/4インチのプレキシガラス板を使用する。一方の端を溶媒接着剤で接着して乾かし、管内に3/4インチの高さまで詰め、もう一方の端を接着する。プラスチックの取手は、管の横に接着し、鎖を取り付ける。

ボールブロックは、ボールのまわりに幾層かのプレキシガラスをサンドイッチ状に重ねて作る。(図参照) 全体は、溶媒接着剤で接着される。(ボールケース中へ、接着剤を流し込まぬよう、注意する。) ボールはプラスチック会社より、直径1/2インチのものを購入した。ボールの真中に1/16インチの穴をあけ、その穴にわずかに切れ目を入れた1/16インチの鋼鉄棒を差し込んである。ボールケースの中を鉱物油で一杯にする前に、ブロック全体を華氏175度のオーブンで12時間焼かなければならない。この工程によって、ブロックを強くしている。ボールケースのわきに、前もってあけた充てん口から油を満たし、ナイロンねじでふさぐ。

解説パネル

(1) やってみよう

この装置は、プラスチックボールの中に、短い鉄の棒が差し込まれているので、鉄の棒が、磁界の方向にそろって、一様に並ぶことができる。この装置を磁石の周りと磁石の間で動かしてみよう。ボールブロックを動かすことにより、磁極の中心から出ている磁力線は直線であり、磁極の外側をとりまく磁力線は、曲線であることがわかる。

黒い砂の入っているコップを磁石の間に入れてみよう。そして、磁界に対する砂の反応を見つめよう。黒い砂は酸化鉄である。黒い砂の1粒1粒は、磁場の中に入られると、一時的に磁石となり、磁気が最も強い所に集まるようになる。磁石は、カリフォルニアシンクロトロン技術研究所で、黒い砂は浜辺で入手した。

(2) 何が起っているのだろう

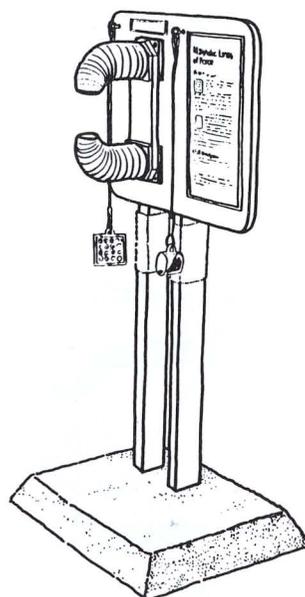
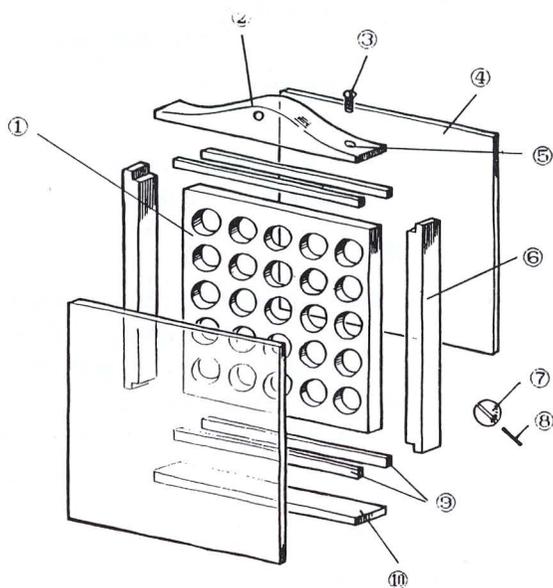
磁界は、磁石を取り巻く空間に現れる、目には見えないものである。この空間では、小さな磁石の磁極が磁界の大きさと方向性を持つ力を示していることを体験するであろう。

この空間内にd 実際の線が存在するわけではない。磁界のあらゆる場所で磁力の方向性を示す線をえがくことで表現することができる。

注記

この展示品を作るのに伴う困難は、磁石を探すことである。レーダーマグネットとも呼ばれるものである。外には、希土類磁石や電磁石を代用することもできる。

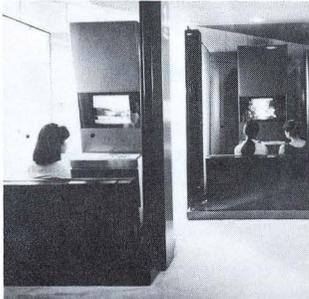
図5



- ① 1/4インチ プレキシガラス ブロック
ボールを自由運動させるように穴をあける
- ② 持ち手 (パネルにつなぐ穴がある)
- ③ ナイロンねじ
- ④ 1/8インチ プレキシガラス
- ⑤ 充てん口

- ⑥ 1/4インチ プレキシガラス 側面ブロック
- ⑦ 直径1/2インチのプレキシガラス ボール
- ⑧ 鋼鉄棒
- ⑨ 1/8インチ プレキシガラス 支持ブロック
- ⑩ 1/8インチ プレキシガラス 下端ブロック

新年おめでとうございます



ビデオライブラリシステム
ACL-3000

株式会社 **アサカ**
〒163 東京都新宿区新宿NSビル
私書箱第6010号 ☎(03)349-1515(代)
販売：株式会社シバソク/ソフト制作・
サービス：株式会社エイ・エス・シー

For Nature



INTERIOR/EXTERIOR/DESIGN/EQUIPMENT
ONY KOB0 CO.,LTD.

PHONE:(03)221-1102(代)

**剥製・骨格・標本
全種製作専門**

有限
会社 **尼ヶ崎剥製標本社**
〒113 東京都文京区弥生2-7-1 TEL 03 (814) 8874(代)

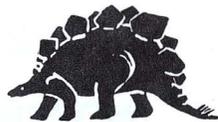
博物館 企画・設計・制作

学研 環境メディア部

〒146 東京都大田区仲池上1-17-15(学研第2ビル)
TEL 03 (726) 8761

「恐竜マグ」発売元

博物館・科学館の記念品
オリジナル商品の企画・製作



TEL: 03-467-6555 株式会社 アンティー
FAX: 03-467-6568 〒150 東京都渋谷区神山町5-17-203

科学館・
博物館の
展示



**企画・設計
制作・施工**



京都科学標本(株) 科学展示部

本社(京都) TEL(075)621-2225(代)
東京営業所 TEL(03)253-2861(代)

「見る」から「参加する！」
博物館づくりを提案します。

UCHIDA

ユーカムス
UCMS
UCHIDA CULTURE MUSEUM SYSTEM

内田洋行 教育機器事業部
東京・大阪・札幌・福岡

東京営業部/本部 〒104 東京都中央区新川2-4-7 ☎03(555)4194

超大型写真づくりで40年。
私たちは、きびしい要求をひとつづつ消化してきました

フレイティブ・フォト



株式会社

ササオ

〒110 東京都台東区台東1-32-2 ☎(03)834-3565(代)

**ユニークなディスプレイ
企画・設計製作・施工**

おおみ
om 大味

〒116 東京都荒川区町屋6-6-5
TEL. 892-2796(代) FAX 819-2821

斬新な企画とアイデアで科学をディスプレイする。
Science & Display これが目標です。



株式
会社

サテテイト

東京都渋谷区神宮前3-10-12
TEL. (03)478-0055(代表)

新年おめでとうございます

空間に「夢」と「心」を演出する……



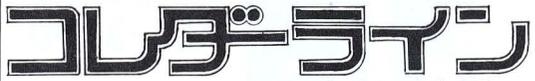
SANWA ADVERTISING

三和アドバタイジング(株)三和通信社

本社 東京都中央区八重洲2-6-7(〒104)

電話 (03)281-1051(代)

壁面展示を美しく安全に吊る・(釘打ち不用)



ピクチャーレール PAT. PD (フィラティー・シグマ応用)

(製造元) 株式会社 中村多喜弥商店

NAKAMURA TAKIYA CO., LTD

- 本社 〒542 大阪市南区島之内1-10-12
☎06-253-0331(代) ファクス06(253)0339
- 東京営業所 〒135 東京都江東区三好3-8-15
☎03-642-3801(代) ファクス03(543)0096

生きた空間づくりをめざして

科学館・博物館の企画・設計・施工

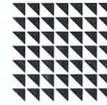
商工美術株式会社

本社 東京都目黒区目黒本町2の17の20

東京 03-716-7601 大阪 06-251-4141 札幌 011-222-5261

生きている博物館づくりで70年の実績がお応えします。

Design & Construction Specialist since 1917



NAKATEN

中村展設株式会社 東京都墨田区両国2-9-8 〒130
TEL 03-634-6201(大代表)

恐竜復元模型 (ティラノザウルス アローザウルス トリケラトプス etc.)

- 化石標本 ● 動物骨格標本
- 各種実験装置 ● 天体フィルム

その他、博物館、科学館、展示品一式。

(株)ゼネラルサイエンスコーポレーション

〒107 東京都港区赤坂3-11-14 赤坂ベルゴビル802

TEL.03-583-0731

ユニークな企画と

定評ある表現技術



〒607 京都市山科区 辻辻池尻町48-4

TEL.京都(075)594-0181(代) FAX.(075)593-2384

展示・教材用各種標本・試料

世界各国より優れた商品を輸入

(地学標本,化石,レプリカ,ジオラマ,視聴覚教材と) 機器,天文資料,科学実験機器,教材用模型)

創和科学(株)

東京都新宿区新宿4-1-22
新宿コムビル701(〒160)
TEL 03(353)7297



日精株式会社 展示造形本部

〒105 東京都港区西新橋1-18-17(明産ビル) ☎03(502)3471(代)



株式会社 東京スタジオ PHONE:03-946-8241

本社 東京都豊島区駒込1-14-6

営業所 札幌 浜松 豊橋 京都 福井



社会とともにIBM

日本アイビーエム株式会社

本社

〒106 東京都港区六本木3-2-12

☎(03)586-1111(代)

新年おめでとうございます

<p><i>Nichika</i> ニチカ 石のことならニチカ</p> <p>地学標本・機器全般取扱</p> <p>石のことならニチカ</p> <p>石のことならニチカ</p> <p>日本地科学社 〒604 京都市中京区麩屋町通御池上 TEL (075) 222-2263・FAX (075) 222-2299</p>	<p>展示用・研究資料</p> <p>鉱物・化石標本専門</p> <p>凡地学 研究社</p> <p>〒113 東京都文京区千駄木3-33-1 TEL.03(821)6941 FAX.03(824)9134</p>
<p>鉱物岩石化石標本 地形模型・歴史科模型 製 作</p> <p>株式会社 ノーベル社</p> <p>〒113 東京都文京区本郷3-9-5 TEL. 03(811)7381 工場 〒203 東京都東久留米市浅間町3-24-18 TEL.0424(21)2415</p>	<p>創合力で、ミュージアムの 明日をカタチにします。</p> <p>DISPLAY & INTERIOR MURAYAMA 株式会社 ムラヤマ</p> <p>〒112 東京都文京区後楽2-13-10 Phone:03-813-1201 東京/大阪/名古屋/横浜/千葉/神戸</p>
<p>確かなかたちで、伝えたい。</p> <p>私たちは博物館の展示・創造を通して、 明日へのコミュニケーション活動を広げています。</p> <p>株式会社 乃村工 藝 社 文化施設事業部 本社：東京都港区芝浦4-6-4 電話03-455-1171代表 東京・大阪・札幌・仙台・岐阜・神戸・岡山・福岡・鹿児島</p>	<p>やかな発想、確かな技術 と科学のディスプレイ</p> <p>MEGA SYSTEM DEVELOPMENT 企画・設計・製作</p> <p>株式会社メガ・システム開発</p> <p>〒153 東京都目黒区目黒1-2-23-10号 TEL.03 493 8864 FAX.03 493 1870</p>

全科協 北から南から

○特別展「八郎潟の自然史」

会期：昭和62年11月15日～昭和63年2月29日

秋田県立博物館では、昭和58年の「砂丘の自然史」につづく自然史シリーズの第2回目として、秋田県の代表的な自然のひとつである八郎潟をとりあげた特別展を開催中である。

約8000年に渡る八郎潟の歴史の中で、内湾から汽水域へと環境を変えながら現在に至り、大干拓事業によってかつての5分の4が陸地になってしまった。展示では、八郎潟のおいたち、潟の風景、塩水から淡水へ、顔を出した湖底の4つのテーマを写真パネルや標本を中心に紹介する。ほかに、潟の水鳥や魚類、水生植物も展示され潟の自然史を総合的にとらえて、展示が構成してある。

○特別展「神奈川の植物」

会期：昭和63年3月19日～5月8日

神奈川県植物誌調査会が、9年間に渡って神奈川県内を、108のメッシュに区切って、そこに自生する植物を調査した。神奈川県立博物館では、この調査結果をもとに、箱根や丹沢の特徴ある植物相や、変わりつつある都市域の植物など神奈川県内の植物の実態を紹介する。

このような全県的な調査を長年に渡って実施した成果を、まとめて展示する特別展は国内に例がなく、10万点を超える資料の中から、代表的な標本資料を中心に、企画される特別展は、他館の大いに参考となるものである。

この特別展に合わせて、講演会や展示解説書（目録）等が用意されている。

市立名古屋科学館の出版物

市立名古屋科学館では、科学知識の普及啓発活動の一つとして、天文・物理・電気などに関する平易で親しみやすい図書や星座早見盤などの著作編集をしている。

小中学生だけでなく、大人が読んでためになる内容で、科学館の見学の際に購入していく親子も多い。

他の科学館にとっても、大いに参考になり、科学館の事業として今後各館でユニークな出版物が発行されることを期待したい。

- 歴史で見るやさしい電気学
- はじめての電子工作
- おもしろ科学Q&A 物理編
- 星のはなし
- はじめての天体観察
- たのしい冬の星座伝説
- 星座早見
- 新学習星図

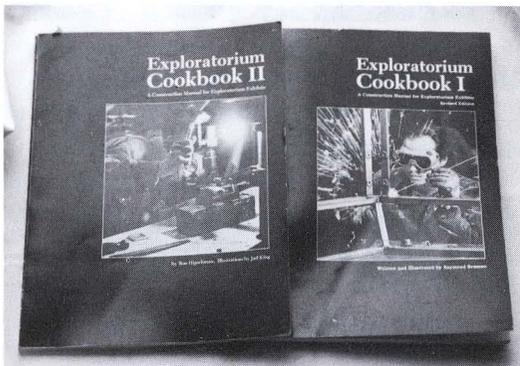
問い合わせ先：名古屋市中区栄2-17-22 (〒460)
電話 052-201-4486 (代)

エクスペラトリウム

「クックブック」について

本紙で連載中のエクスペラトリウムの「クックブック」について、関心を持たれた館園及び個人からお問い合わせが届きました。

- Q1. クックブックの紹介及びその内容に関する著作権について、どのようになっているのか？(S科学館)
- A. 本紙(1987年9月号)の皆川氏、中川氏の文章にもありましたように、「クックブック」そのものが、エクスペラトリウムの展示資料の紹介であり、図面や作り方をオープンにして、他の科学館・科学センターで自由に利用してもらうことをねらいとしています。また、その内容をもとにして製作しようとすると



クックブック I, II

ころには、必要に応じてさらに詳しい資料を提供するとともに、同様の展示を製作した施設から改良した点や、新しい方法について情報を得ることも期待しています。すでにクックブック I (第2版, 1984年), クックブック II (1980年) には、仏語版などの翻訳出版がされ、展示製作の基本書となり、各館での活用が期待されます。

本紙上での翻訳掲載については別途了解を得ておりますので、転載等の際には予めご連絡ください。

Q2. クックブックの原著は、エクプロラトリウムでしか入手できないのですか。(T市科学センター)

A. 同様のお問い合わせが数件ありました。全科協の海外視察等で渡米された方々は、エクプロラトリウムで購入されています。サンフランシスコ市内の書店では見あたらなかったとのこと。エクプロラトリウムでは、クックブック III を出版し、さらに充実した展示製作の手引き書となりました。価格は I が60米ドル、II は40米ドル。最新刊の III は50米ドル(予価)です。

都内の洋書取扱い書店では、1ドル230円前後で、取り寄せ可能とのことですが入手までに3~4カ月かかることとなります。

個人でメールオーダーする場合には、直接下記宛にお問い合わせください。

The Exploratorium Publications

3601 Lyon St., San Francisco, CA, 94123

また、本紙に翻訳を寄稿いただいている中川氏のもとでも、クックブック I, II, III をまとめて直輸入する予定です。価格、送料及び公費支払方法等について、直接お問い合わせください。

㈱ゼネラルサイエンスコーポレーション

(全科協維持会員) 中川 久雄 Tel. 03-583-0731

事務局から

新年明けましておめでとうございます。

本年も発行が遅れがちで、加盟館園の皆様にご迷惑をかけております。心機一転、心を新たに今年もどうぞよろしく願い申し上げます。

◇全科協ニュースでは、加盟館園で発行した特別展の図録やガイドブック、研究報告、ポスター等の出版物を紹介しています。事務局宛にて、ご連絡ください。順次掲載します。販売品の場合は、申込み先、代金や送料など必要事項も合わせてお知らせください。

◇全科協ニュース編集委員会では、加盟館園の発行しているニュース、館報などの定期刊行物をもとに、編集会議で特集記事や原稿の依頼等を検討することがあります。お手数ですが、各館園の定期刊行物を1部全科協事務局宛にて、お送りくださるよう、願います。